

# 慈恵園だより

**第19号**  
 ■発行所■  
 芦別市旭町28番地  
 特別養護老人ホーム  
 芦別慈恵園  
 ■発行責任者■  
 皆木 辰 吉  
 ■印刷所■  
 (有)ワタナベ企画いんさつ



## 「なごみ茶話会、はじめました!!」

### 相談ごとはありませんか?



#### なごみ茶話会はじまる

ご利用者にとって、利用しやすい質の高い介護を提供できる様に、芦別慈恵園では、今年度より第三者委員の齊藤広様と後藤君枝様にお願ひし各フロアごと定期的にお茶会形式で懇談会を開きます。

初回は、東フロア「いこい」で5名の方が出席し、自己紹介から始まり、昔、住んでいた場所や今の生活、趣味の話等沢山話されました。最後に、後藤さんより、手のリハビリ体操を教えて頂き、和やかに終了しました。

二回目は、五月に齊藤広様を迎え西やすらぎフロアで開かれ、9名の方が参加し40分間懇談しました。内容としては、好きな食べ物や趣味、日常生活での希望等が話されていきました。特に齊藤さんの芦別の昔話を皆さん興味深く聞かれています。

懇談会の後、ご利用者からは職員以外の人と話し合いをする事が出来て良かったとの声が聞かれました。



# もみじの家に 遊びに来ませんか？

平成十七年八月一日より、本町二番地の住宅を利用して、近所の方が通って来られる『もみじの家』を開設いたします。

開設にあたり町内会長様や各居宅介護支援事業所に説明を行いました。どこか懐かしい雰囲気なかで、皆さんがいつも行っている生活が出来るようにと考えています。七月二十五日～二十八日まで無料体験会を行いますので、ぜひ遊びに来てください。

## 【営業日】

毎週月曜日から土曜日まで（祝日も実施）

## 【営業時間】

午前九時から午後四時まで

## 【一日の定員数・対象者】

六名・要支援または要介護1から5の方

## 【サービス内容】

- ・車にて送迎
- ・昼食
- ・好きな時間での入浴
- ・食事作りや散歩、畑作業など生活の中でのリハビリ

## 【その他】

町内会の会合等に利用できるスペースもあります。

来年度からは泊まることも可能になります（小規模多機能施設）

※詳しくは、現在使用している居宅介護支援事業所または、在宅介護支援センターや芦別慈恵園にご連絡ください。

たくさんの方のご利用をお待ちしております。

平成17年  
8月1日開設



## 新採用職員研修

例年行なってきた新採用職員研修ですが、今年度から、外部講師を招き、接遇や現在の介護保険制度の仕組み、またご利用者への援助の方法などを研修しました。二日間泊り込みでの厳しい研修会でしたが、参加した新採用職員は慈恵園職員としての心構えを学び意欲を持って取り組む事を決意していました。



## 個人情報保護について

平成17年4月1日より個人情報保護法が施行されました。これを受け、芦別慈恵園では

個人情報保護推進委員会を設置し、ご利用者の個人情報に関する取り扱い規定等を策定致しました。また、第三者に個人情報が漏れることのないよう、家族代表者以外の方からのお問い合わせにはお答えしないこととなりました。どうぞご理解・ご協力をお願い致します。

# 平成17年度事業計画

## 《事業方針》

(1) 法人基本理念 「和顔愛語」  
わがんあいご

- ・人にやさしい笑顔
- ・心は豊かに
- ・言葉は和やかに

(2) 老人福祉法の目的及び基本理念、並びに介護保険法の目的達成に努めると共に、地域で利用者が尊厳ある自立した日常生活を営むことができるよう、必要な福祉サービスを提供し、QOL（生活の質）の向上に努める。

(3) 平成17年度運営目標 「生活の質の向上」  
穏やかな支援で地域や施設で安心して生活を送る

## 重点項目

- ① 自分らしく生活できるサービスの提供
- ② 健康管理を行ない、体調の維持を図る
- ③ 事故予防の充実、迅速な苦情解決
- ④ 食生活の充実と喫食率の向上
- ⑤ 個別リハビリの充実と介護予防

## 「機能訓練」について

機能訓練指導員 滝本 朋子

今年度より、リハビリコーナーの看板が新しくなりました。りんごが爽り明るい雰囲気になりました。御来園の際は是非一度、お立ち寄り下さい。そして何かリハビリに対して御希望がありましたら知らせて欲しいと思っています。

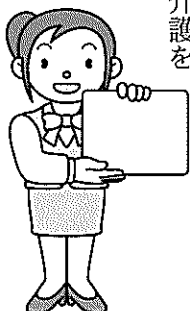
四月から居室のロッカーにリハビリカレンダーが貼ってありますが御覧になりましたか。六月はあじさいの絵になっています。七月は夏らしい絵を考え中です。今後も季節感のあるものと思っていますが、何かアイデアがあれば教えて下さいね。

月曜日は全フロア対象で体操を行っています。その時に頭の体操ということ。四文字熟語の一字を隠し、四文字熟語を完成させるというクイズを行っています。最初は小声でしたが、最近は声も大きく答えて頂いています。他にも皆様が楽しい時間を過ごして頂けるよう、御利用者に合ったリハビリを実施して行くと思っています。

## 「ケアプラン」について

介護計画主任 松本百合子

ケアプランとは介護が必要な方の現在の身体状況や気持ちを良く知る事から始め、個々が必要としている介護は何か又身体が思う様に動かなくなった方には、どのような事を手助けすると、自立した生活に近づける事が出来るのかを色々な職種が考え検討を行い、手助け内容を具体的に計画する事です。ケアプランは本人や家族の方々の希望等をお知らせ頂き、取り入れる事でより本人様に合ったプランを作成する事が出来ます。慈恵園では、定期的又は必要に応じ見直しを行ないながらケアプランの作成を実施し、介護させて頂いております。又今年度より見直しを行なった都度、ご家族様に計画書を送付させて頂き、計画書の確保や御要望等をお聞せ頂きたいと考えております。職員もケアプランに基づき、ご利用者様に対し質の高い介護を提供して行くように心掛けております。



# デイサービス 定員増で利用も好評

デイサービスセンターは、皆様にご利用され満3年を経過しました。そしてこの4月からは定員が24名に4名増員となりました。利用率も好調で、ここ3ヶ月間も引き続き100%のご利用となっております。そこで今回は、4月からのデイサービスの様子をご紹介します。

入浴と体操は、午前だけではなく、午後も行うようになり、ゆったりとくつろぎの時間を過ごすことができますようになりました。中には体操を2回とも参加するご利用者もいます。「人数が多くなり賑やかでいいですね」との声も聞かれています。

昼食は、ご利用者の皆様にテーブル毎に味噌汁やご飯の盛り付けをして頂き、役割や主体的意識を持つことができます。そして職員も一緒に食事をすることで家庭的な雰囲気の中の食事となっております。

レクリエーションを通した個別ケアでは、個々のご利用者の個性を見出して支援しています。自分の居場所が見つかり快適に過ごすことで笑顔、発言、仲間同士の会話が增え、お互いを助け合うようになり行動が積極的になって来ています。

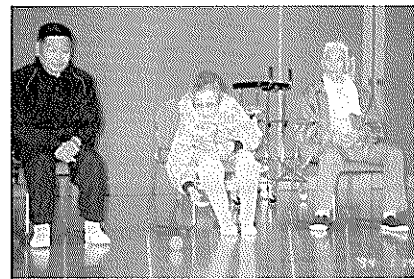
これからもご利用者の皆様には、ゆったりと過ごして頂けるサービスを提供してまいります。新しくできる「もみじの家」共々どうぞよろしくお願いたします。



▲ 天気が良いですよネ、ミニトマトを植えてます！



▲ あれ？はずれた！



▲ それ！当たるように

## 在宅介護 支援センター

この度、在宅介護支援センターでは、介護予防の一端と致しまして地域の皆様と一緒に介護予防体操を各地区の老人クラブにて行います。

内容は、介護予防に関する講話や体操・日頃不安に思っていることや相談事もお聞きしながら、皆様と楽しく過ごしたいと思っております。

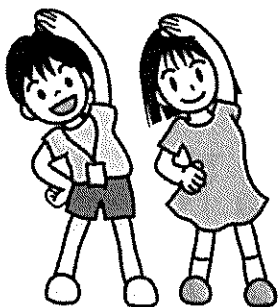
参加は自由ですので、関心のある方大歓迎です。また、ご自宅にお伺いし心配事や相談をお聞きしますのでご連絡して下さい。

◎お問い合わせ先  
芦別慈恵園

在宅介護支援センター

電話 24-2200

相談員 大下美由紀



◎**デイサービス利用者受付中**

ご利用希望の方は随時受付けております。どうぞお申し込み下さい。

**1日無料体験も行っています。** (初回だけ無料で利用できます)

◎**ボランティア募集しています。**

興味のある方、元気を下さい。お待ちしております。

◎**介護の事、わからないことは…!**

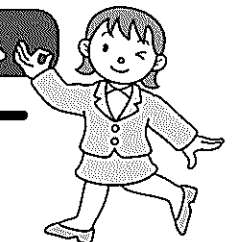
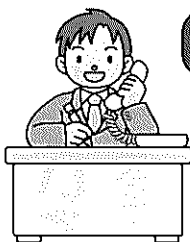
ケアプラン相談センターへ聞いて下さい。

**お申し込みは TEL.24-2200へ**

**芦別慈恵園 デイサービスセンター**

芦別慈恵園 在宅介護支援センター

芦別慈恵園 ケアプラン相談センター



# 声の広場

## デイサービスご利用の皆さん

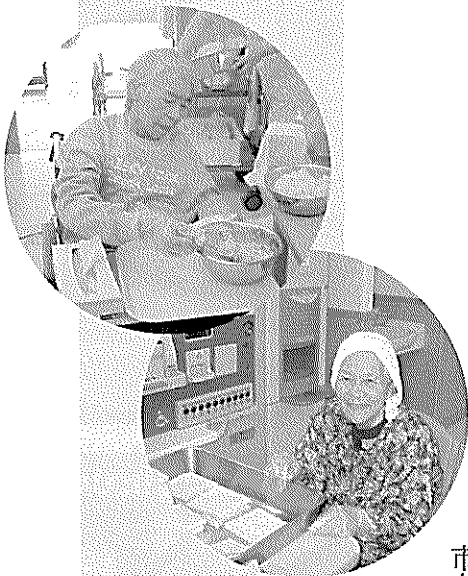
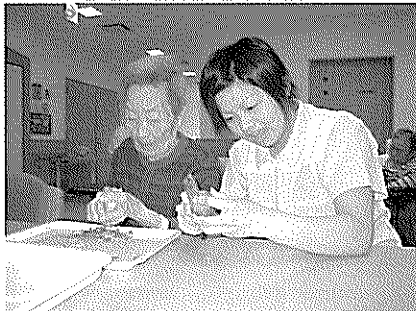
◆デイサービスに週2回来ています。今ではあまり運動をしていないのですが、芦別岳に登ったことがあります。頂上で朝日を見たことがいい思い出です。家に居るときは刺繍をしています。だがデイサービスに来るようになって友達も多くできました。おしゃべりすることが楽しみです。たまたま病院で会うこともあって、楽しいですよ。

◆開設の頃から利用しています。皆さんの顔を見に来ることが楽しみです。ここに来る方とは仲良くしたいと思っています。職員の人にも冗談を言ったり、踊ったりで、愛嬌もあるから、休んだりすると寂しく思います。

◆昔は炭釜の飯場で仕事をしていました。体調を崩す前は、踊り、習字、民謡などやっていました。デイサービス

## 複式献立 おやつ作り

### 皆さん、 料理上手ですね！



には来たくないと思っていました。家に居たら一人なので、皆の顔を見に来ることが楽しみになりました。周りとうまくやっていくためには、90歳になっても、自分が変わっていかねければいけないと思っています。

◆一人暮らしなので、週一回デイサービスを利用していますが、友達と話ができることがいいですよ。レクリエーションではジグソーパズルを楽しんでいます。

一日一回、自宅から外出して、3人以上と会話することが元気に生活を続ける秘訣だそうです。

「ひまわりフロア」  
**高野 節雄 様**

高野様は音更町で十二人兄弟の十番目、九男として生まれました。家は農家を営み、豆類や馬鈴薯、ピートなどを栽培していたそうです。また酪農もしており、他の兄弟と一緒に家の仕事

をお手伝いして暮らしていました。農作物の収穫量で税金が変わるため、税金が高くなりそうなる時には、収穫したものを穴の中に隠したことも……。『今はもう時効だから』と笑ってお話されていました。

慈恵園に入居されて、もう十年以上経ちますが、綺麗な紙や糸などを使ってオブジェを作ることが日課にしています。作ったものをみんなに上げることで喜んだ顔を見せて貰えるならそれが何より嬉しいから、とお話して下さいました。

「一階」はのほの「  
**遠藤 省三 様**

散歩が大好きで、いつも元気に園内を散歩し、また天気の良い日には職員とともに園外を車椅子で散歩しています。テイルームですらんで音楽を聴いたり、新聞を読んだり、職員と歓談したりとご自分のペースで楽しく毎日を過ごされています。

ご厚意ありがとうございました

(平成十七年二月〜五月) 敬称略

### ▽寄付金

- (芦別市) 吉田鶴藏
- (美瑛町) 牧野重蔵
- (札幌市) 星 武漢
- (旭川市) 加藤邦彦

### ▽寄付物品

- (芦別市) ともしび会、芦別市老人クラブ連合会、荒井 彰、田代義雄

### ▽ボランティア・訪問団体

- ともしび会、ボランティアはまなす、ボランティアどんぐり、ボランティアふきのとう、芦別市老人クラブ連合会





「のんびりティータイム」



金魚のエサは忘れないよ



おサルさんと「ハイ、チーズ！」



花壇作りは楽しいネ！



街へショッピング「美味しそうなお菓子ね！」

◇今年の不順な天候にも拘らず、デイサービス畑の作物は順調に成育。秋の収穫が楽しみ。草取りや水遣り等手入れにも丹精を込めて…。(〇)

◇ホームヘルパー2級取得講座を受講します。これからの福祉施設は小規模多機能型と言われていますが、職員も一人多機能の時代ですね…汗。(F)

◇ケアワーカーの制服を廃止。明るくカジュアルなTシャツやジーンズ姿で澁刺とした雰囲気です。フロアの中もより家庭的な印象になりました。(I)

◇もみじの家の8月開設にむけて準備をしています。地域に根ざしたデイサービスを目指してスタッフも頑張っています。中央町内会の皆様宜しくお願致します。(K)

### 編集後記

#### ● デイサービスセンター「今日のリハビリ体操」

